

講義名	基礎心理学		
科目区分	教養一般		
担当教員	蜂屋 真		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	42031

主題と概要

まず、心理学の研究対象、研究法、研究領域について講義する。次いで、心理学に研究対象である心と行動に深く関わる臓器、脳について講義する。さらに、知覚、学習、知能、発達のような知見について講義する。最後に、社会心理学の集団と帰属について講義する。

到達目標

心研究法、脳、知覚、学習、知能、発達、社会行動など、心理学の基礎的項目を理解している。

提出課題

授業の進行に従って、学生諸君に様々なレポートを書かせる。それを授業に反映し、活用する予定である。

評価の基準

何度かレポートを書かせるが、これをもって理解度試験とし、期末試験の結果と合わせて成績を評価する。成績の点数配分は、理解度試験(30%)、期末試験(70%)である。なお、レポート形式の中間試験を行う。

履修にあたっての注意・助言他

授業は板書を中心に行われ、ノートを取ることが必要である。試験問題はノートから出題される。授業中出席チェックをかねたレポート作成を求めるが、これを予告なしにランダムに行う。従って、授業を欠席していると、単位取得が難しくなる。なお、認定心理士の取得をめざす諸君は、この科目を必ず履修しなければならない。教科書は心理学概論の教科書と同一である。

教科書

人間理解の科学：心理学への招待。 鈴木清編 ナカニシヤ出版 2000円

プリント資料及び参考文献

関連資料は授業中に配布する。

授業計画

- 1.心理学とは：心理学の研究対象、心理学の考え方、研究領域 (p.5～p.7)
- 2.行動の生理学的基礎(1)：大脳皮質の機能局在、大脳半球の反対側支配 (p.8～p.12)
- 3.行動の生理学的基礎(2)：言語野、失語症、言語の臨界期 (p.8～p.12)
- 4.知覚(1)：錯覚・錯視の体験 (p.25～p.31)
- 5.知覚(2)：形の知覚、図と地、まとまりの法則、幾何学的錯視、月の錯視 (p.25～p.31)
- 6.知覚(3)：空間知覚、運動知覚 (p.25～p.31)
- 7.学習(1)：オペラント条件づけ、シェイピング、強化スケジュール (p.32～p.37)
- 8.学習(2)：チンパンジーの言語行動
- 9.知能(1)：知能テストの実施・採点・解説
- 10.知能(2)：知能の定義、知能テストの仕組み、知能の決定要因
- 11.発達(1)：思考の発達、感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期 (p.67～p.87)
- 12.発達(2)：社会性の発達、愛着・道徳性・仲間関係の発達
- 13.社会(1)：集団とは、社会的促進、社会的手抜き、同調 (p.109～p.128)
- 14.社会(2)：帰属とは、原因・成功失敗・情動の帰属
- 15.まとめ

予習・復習

授業内容は、授業計画に付された教科書ページ箇所に対応する。予習として授業内容に対応する教科書の箇所を読んでおくこと。復習として教科書を活用し、さらに関連書籍を学習すること。

備考